

北部すこやか福祉センター移転整備の候補地について

北部すこやか福祉センター移転整備の候補地について、以下のとおり報告する。

1. 経緯

(1) 現行の移転整備

北部すこやか福祉センターは、昭和37年(1962年)に中野区北保健所として開設、北部保健福祉センター、北部すこやか福祉センターと変遷し、令和7年(2025年)時点で築63年となり、建物更新の目安となる60年を越えている。

現行の中野区区有施設整備計画(令和3年10月)では、北部すこやか福祉センターについては「沼袋小学校跡地に移転・整備する。移転後の跡地は売却する。」とし、沼袋小学校跡地については「避難所機能を含む北部すこやか福祉センター及びオープンスペースを整備する。」としている。

(2) 移転候補地の検討

この間、沼袋小学校跡地への移転整備に向けて検討を行ってきたが、令和6年8月、東京都財務局から未利用公有地の情報提供があり、現在の北部すこやか福祉センターの近くのまとまった土地であったことから、移転候補地としての可能性調査や比較検討を並行して行ってきたところである。

(3) 優先候補地としての位置付け

容積調査の結果、用途規制上、特例許可を要するものの、すこやか福祉センターとして必要とする機能を配置する床面積の確保が可能であることが判明した。現北部すこやか福祉センターから約200メートル西側に位置すること、角地で平坦、整地済で整備しやすいことなどから、優先的に検討する候補地として位置づけ、東京都との交渉や与条件の整理を進め、令和7年度中に移転整備の方針を決定する。

2. 移転候補地の概要

地番：中野区江古田四丁目 1751-3

面積：575.18 m²

用途地域：第一種低層住居専用地域(容積率150%、建ぺい率60%)

接道：東側及び北側接道(ともに法第42条第1項第1号道路(区道))

現況：更地(建物除却・整地済)

<位置図>

